



星野正明理事長と星野美奈子理事 菜の花の門松の前で



良い年でありますように、ご祈念申し上げ、念頭の「挨拶とさせていただきます。」

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 社会福祉法人聖啓会 理事長 星野 正明

新年明ましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。さて昨年は、平成から令和に年号も変わり全員で気持ちを一新して勤めています。来年も医療・介護報酬の改定にともなう制度改正の予定があります。今年も昨年以上の厳しさになると思われますが、前に向かって進み、「菜の花」にとって輝ける年にしたいと思っています。皆様には日頃から、温かいご支援とご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。社会福祉法人聖啓会は、今日まで地域の福祉のため尽力して参りました。特別養護老人ホーム「菜の花」は皆様に安心と生きがいをお届けできるよう心がけています。これからも皆様に喜んでいただけるよう職員一同、誠心誠意尽くして参りますので、より一層のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2020

本年も皆様にとって良い年でありますように、ご祈念申し上げ、念頭の「挨拶とさせていただきます。」



12月18日 ボランティア 乙女椿



12月10日 ボランティア Fu〜風

クリスマスに合わせた手品が楽しかったです。「良かんさま」の歌の音量がすごくてびっくりしました！



12月15日 烏帽子山秋葉神社祭典にご奉納に

菜の花の北側の「烏帽子山」には、山頂に秋葉山神社が祀られています。先日、内瀬戸の皆様のご奉納に、課長がご一緒させて頂きました。山頂からの眺めがとても良いです。晴れていれば、富士山や伊豆半島までが一望できます。



- 今月以降の行事予定(現在決定分)
- 1月22日 書道倶楽部
 - 2月5日 ボランティア とつこうつつこう
 - 12日 書道倶楽部
 - 14日 手芸倶楽部
 - 19日 華道倶楽部

- 26日 書道倶楽部
- 28日 絵手紙倶楽部

菜の花だより・お知らせ・公開資料は、ホームページからご覧いただけます。
<http://seikeikai.info/>
 発行：社会福祉法人聖啓会
 特別養護老人ホーム菜の花
 電話：054-646-7087
 編集：中村

面会制限をしています

十二月十六日(月曜日)より面会を制限しています。ただし、特別な事情による面会については、この限りではありません。せんのので相談ください。

- ・面会の場合は、必ずマスクを着用ください。
- ・風邪症状や下痢など、感染症の恐れがある方は面会を回避ください。

面会制限等の情報について、随時菜の花ホームページにお知らせいたします。
<http://seikeikai.info/>

お陰様で、菜の花の施設内には感染症の流行もなく、落ち着いてお過ごしいただいています。(一月十五日現在)恒例の方や慢性疾患をお持ちの方がインフルエンザ等の感染症にかかると、肺炎を伴ったり今後の体力が大きく低下するなど、危険性が高くないがちです。このため、面会の制限を行っています。このため、この期間の人混みへの外出等もなるべくお控え頂いています。ご不便をおかけして大変申し訳ございません。なにとぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今後の面会制限の終了予定について

※面会制限の期間は感染症の流行状況によって変動します。

制限終了は、早い年では二月末まで、遅い年で四月中旬です。



クリスマスを楽しもう

どこかで見たことのある若いサンタさんたちがプレゼントをお渡ししました。喜んでもらえたかな？



12月12日 ギター演奏会



12月11・25日 書道倶楽部



12月25日 絵手紙倶楽部



12月20日 烏帽子ユニットお誕生会 焼き立てワッフルが皆さんに大好評！楽しいお誕生会になりました



4階手芸倶楽部 貼り絵で赤富士を作りました



12月10日 4階 健康倶楽部の仲良し三人娘



今年も年末恒例握り寿司大会！いつもは「柔らか食」のお客様も、お寿司ならスルスル食べることができます。嬉しいですね！



Healing's

意味 くほっとする・心と身体を回復・大宇宙に充滿する命

1月の *Healing's* は、**“2020今日も迎える幸運の朝”**です。

ある手記から

平成29年の10月に、心臓の3本の冠状動脈にステントを入れて命が救われた状況を、お伝え致しましたが、今回も超幸運な出来事がありましたので、お伝え致します。

昨年12月5日に罹り付け医の勧めで、再度静岡病院のハートセンターの心臓内科の検査を、軽い気持ちで受けた所、左冠動脈主幹部に病変があり緊急手術が必要と。正に、寝耳に水でした。幸運な事に、心臓外科の医師が、“明日なら空いている”と、翌6日9時に「冠状動脈バイパス手術」を受けました。

手術は人口心肺装着し、心臓、肺も機械に任せて約7時間を要し、術後のICUでは朦朧とした中で、両手の抑制を余儀をなく受け、口渴との闘いで、男性の看護師の手を随分と煩わせ、翌7日の朝に、彼が温かいタオルで顔を拭いてくれた瞬間、**「気持ちいい〜何と幸運な朝なのだ」**と感慨無量。その上、彼が口の中に含ませてくれた氷片の美味しかった事、忘れません。

今回は3名の医師団に命を救われました。検査を勧めて下さったクリニックの表先生。心臓内科の児玉先生の診断。**“ド偉い手術”**をして下さった心臓外科の宮野先生。ハートセンターの高度な技術に驚くばかりです。今後は、救われた命を有意義に生かして参ります。

菜の花の朝もホットタオルと温かいお茶で始まります。入居様には**「今日も幸運な朝」**と思って頂ける様に心を込めたケアを提供し、施設の役割を果たす事を年頭に誓います。